

チームを変え リーダーのための

2015年のラグビーW杯で「スポーツ史上最大
の一番狂わせ」と世界中を沸かせたラグビー日
本代表。エディー・ジョーンズヘッドコーチと共に
日本代表を勝てる組織へと導いたのは、当時メン
タルコーチを務めた荒木香織氏の力も大きい。
チーム全体の意識を変え、組織力を向上させるた
めのポイントを語っていただいた。

取材・文 山口雅之

メンタルスキル

前ラグビー日本代表メンタルコーチ
園田学園女子大学教授
荒木香織

いまより能力の高い社員を採用
できれば、業績ももっと上がるの
に……そう考えている企業のトッ
プは多いと思います。でも、本当
にそうでしょうか。いくら優秀な
人を集めても、持てる力を十分発
揮できていなかったり、個々のベ
クトルの向きがばらばらだったり
すれば、決していい結果は出せま
せん。強いチームは一人ひとりが
日ごろから、勝利につながる思考
や行動をしています。そして、メ

ンバーのマインドセットをそのよ
うに変えていくのはリーダーの役
割です。私はアメリカでスポーツ
心理学を学び、さらに二〇一二(平
成24)年から三年間、ラグビー日
本代表のメンタルコーチを務め、
このことを痛感しました。エ
ディー・ジョーンズというリーダー
なしに、ワールドカップで日本が
南アフリカを破る歴史的快挙は成
し遂げられなかったでしょう。だ
からといってエディーさんが生ま

れながらのリーダーかといえば、
それは違います。彼は、強いチー
ムをつくるのに必要なリーダーと
してのスキルの持ち主だったので
す。スキルですから誰だって身に
付けることができます。しかも、
そのスキルはスポーツに限らず、
あらゆる組織で通用するのです。

**肩書を変えても
能力は変わらない**

ビジネスパーソンはだいたい

三〇歳前後で役職が付いて部下を
持つようになり、同時にリーダー
としてのスキルが必要となりま
す。

ところが、新リーダーにそれを
きちんと教えている企業は、あま
り多くないようです。それまで
ずっと上司が身近にいたのだけ
ら、リーダーがやるべきことくら
いわかっていられるだろう。たぶん抜
てきする側はそんなふうと考えて
いるのだと思います。でも、毎日